

やまが 市議会だより

第23号

9月定例会

令和元年11月1日
発行／山鹿市議会



息を止め見つめる炎変化する
未来のおのれと響きあうや

理科の実験を興味深く見つめる生徒たち（山鹿中学校）

も く じ

議会報告会	2 ~ 3
行政視察	4
常任委員会の審査と報告	5 ~ 6
市政のここが聴きたい	7 ~ 11
審議結果・賛否一覧・主な議案・討論	12 ~ 13
議会の主な動き 他	14

令和元年度

議会報告会

開かれた議会をめぐりて

常任委員会審査と報告

委員会報告及び現地調査

市政のことが聴きたい

審議結果・賛否一覧・
主な議案・討論

山鹿市議会では、市民の皆さんへ議会の活動状況を報告し、ご意見やご提言などを直接伺うため、議会報告会を開催しました。

5班に分かれ会場へ伺い、各常任委員会の報告後、意見交換を行いました。

今号では参加者のインタビュー、次号では意見交換、アンケートの内容を中心にお知らせします。

令和元年度 山鹿市議会「議会報告会」の開催実績

地区	開催日	会場	今年の参加数	昨年の参加数
鹿北	9月19日(木)	鹿北市民センター	10名	13名
鹿本	9月20日(金)	鹿本市民センター	9名	2名
鹿央	9月25日(水)	鹿央多目的研修センター	14名	35名
山鹿	9月26日(木)	山鹿市民交流センター	16名	15名
菊鹿	9月28日(土)	菊鹿地区公民館	5名	11名
合計			54名	76名

今回はモデル的に菊鹿地区を土曜日の昼間に開催しました。

(山鹿) 村上 寛 さん

議会だよりを見て参加した。
報告について、内容をもう少し詳しく
伝えて欲しい。



(鹿北) 中川 和夫 さん

報告会はやまがメイトで知った。
高齢者の自動車運転、買い物難民などが
気になります。

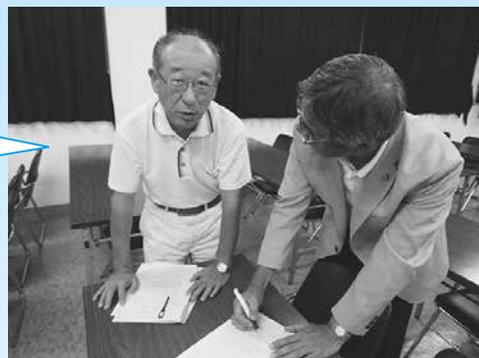
(鹿本) 細川 るり香 さん

このような会をもっと開催して欲しい。
一番の関心事は、農業の担い手育成と
農村振興（野生鳥獣の活用など）。



(鹿央) 佐伯 穎二 さん

議会の活動に関心と期待がある。
時間が短いと感じた。
1番の関心事は、地域の活性化



(鹿本) 吉良 ハルミ さん

議員の活動を知ることができ、安心した。内容も
わかりやすかった。
教育関係に関心がある。次回も参加したい。

(鹿央) 飯田弓子さん(左) 山下節子さん(右)

議会傍聴にも行くが、この報告会では議員が直接
説明されるので、より身近に感じられて良かった。
一般質問はもっと活発に行ってほしい。



(山鹿) 徳重 弘巳 さん

山鹿市に関する知識を深めるために参加。
とても有意義な報告会だった。

(菊鹿) 多久 正光 さん

夜開催のほうが参加しやすい。
市民と議会がつながる場なので、
参加者を増やして欲しい。



(山鹿) 中原 英明 さん

初めて参加したが、わかりやすくて
よかった。
活動を知るいい機会だった。

- その他
- 議場まで傍聴に行けないが近くで開催されるので参加しやすい。
 - 学校統合問題に関心がある。
 - 報告会で出た意見を行政の取り組みに活かして欲しい。

先進地の取り組み

～行政視察～

総務文教常任委員会

7月22日～24日

滋賀県大津市 「議会BCPの取り組みについて」

「議会BCP」とは、市内で大規模災害が発生した時や発生する恐れがあるとき、市対策本部と連携し、被害の拡大防止や議会機能の維持を図ることを目的に、必要となる組織体制や議員の行動基準を定めるもの。議場には災害時に必要なヘルメットなど整備されていた。

京都府京田辺市 「児童館と老人福祉センター複合施設による世代間交流について」

お年寄り子どもたちが同じ施設で交流することにより地域の活性化が図れる。また登下校時の声掛けで元気になるとのことだった。

京都府和束町 「教育旅行・農家民宿の取り組みについて」

茶の産地で「茶源郷」をキャッチフレーズに、お茶畑全体を景観条例として、お茶を主体として他県の中学生（修学旅行の期間中）を農家民泊として受け入れ、人づくりの面でも成果を上げている。



京都府和束町



京都府京田辺市（大住ふれあいセンター）



滋賀県大津市

市民福祉常任委員会

7月29日～31日

兵庫県豊岡市 「健康増進事業について」

歩いて暮らすまちづくり条例による健康づくり、健康ポイント事業の小学校への寄附制度は、社会貢献できると好評。若者対象のスマートフォン向けアプリ開発、職場対抗で運動習慣をつけるなど、健康施策が地域のつながりにも活かされていた。

岡山県瀬戸内市 「移住定住について」

瀬戸内移住コンシェルジュが、移住希望者にきめ細やかなサポートをするなど、官民協働で移住定住者呼び込み取り組みが行われていた。

香川県坂出市 「坂出市立病院の経営改善の取り組み及び経営状況について」

累積赤字25億円、国から廃止勧告を受ける中、医師・職員意識改革で「市民が安心して暮らせる病院」を掲げ、部署の壁をなくし、サービスの向上、コスト削減で経営を再建。巡回・へき地診療、健康教室にも力を入れている。地元大学医学部と連携し、研修医の志望を促進させる働きかけにも積極的であった。

各市の取り組みは本市にも活かせる有意義な研修であった。



坂出市立病院外来受付窓口



岡山県瀬戸内市



兵庫県豊岡市

※建設経済常任委員会は、10月21日(月)～23日(水) に実施予定

常任委員会審査と報告

※委員会の審査報告は、本会議での委員長報告に基づいて、広報広聴委員会で作成したものを掲載しています。

◎は委員長
○は副委員長

総務文教常任委員会

9/10 開催

◎寺崎 勇児 ○服部 香代
平井 邦廣 芹川 正美
富丸洋一郎 勢田 昭一
小川 榮二

会計年度任用職員の給与等に関する条例を制定

◆付託案件
議案12件…承認・可決
認定1件…認定

◆主な審査内容

山鹿市会計年度任用職員の給与等に関する条例

問 今後の採用計画はあるのか

答 現在、臨時・非常勤職員数は、268人である。今のところ具体的な計画は考えていない。今後、職員の総定数を考慮して、検討していきたい。

令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)

問 教育事業費180万円計上しているが具体的に

答 沖縄県宮古島市との学校交流を

目的として、鹿北中1年生をモデル事業として派遣する。今後3〜4年は継続したい。先方からの訪問も考えている。派遣に伴う不公平が生じないように進めたい。

現地調査

○幸ヶ丘研修センター(鹿北町)

広見校区の幸ヶ丘区(43世帯)の住民の研修や交流、福祉増進、地域づくりの活動拠点となっている。

○放課後児童クラブ(菊鹿町)

特産工芸村あんずの丘「交流館」を活用している「放課後児童クラブ(あんずっ子クラブ)」の利用状況を調査した。



放課後児童クラブ(あんずっ子クラブ)

市民福祉常任委員会

9/9 開催

◎堀 茂幸 ○吉本 政幸
永田 紘二 藤本 峰秀
有働 辰喜 芋生よしや

医師退職により患者数減

◆付託案件

議案6件…承認・可決
認定5件…認定
陳情1件…不採択

◆主な審査内容

平成30年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について(中所管)

問

障害者福祉費のうち扶助費の不用額、約1億3700万円の発生理由は

答

扶助費は7つの事業の合計額で、介護訓練等給付費が、新規事業所開所時期の遅れにより約5530万円、障害児通所給付費が当初計画より利用者が少なかったため約5030万円発生したのが主な理由である。

平成30年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について

問

歳出のうち保険給付費が対前年度比4・9パーセント減となった要因は

答

75歳からの後期高齢者医療保険への移行と、その他の社会保険への移行者の増加によるものである。

平成30年度山鹿市病院事業会計決算の認定について

問

入院・外来の総延患者数が対前年度比7・4パーセント減となった要因は

答

泌尿器科の医師が前年度末に退職。また呼吸器内科の医師が9月末で退職したことにより入院患者合計3629人の減少が大きな要因である。

陳情

○産交バス熊本山鹿線「来民中町経由廃止」の撤回を求める陳情書

趣旨は理解できるが、来民中町経由が廃止されても別路線で来民中町を通るバスは45便運行しており、交通空白地域とは言えず、本市全域の路線バスの円滑な運行確保のため不採択すべきものと決した。

8月19日開催(継続審査)

陳情

○国保引き下げのために国庫負担増額の意見書提出を求める陳情書

閉会中審査を行い趣旨採択すべきものと決した。

建設経済常任委員会

9/6 開催

◎富田 弘海 ○北原 昭三
 横手 啓介 池田 誠一
 藤原 豊 立山大二朗

異常豪雨による被害大!

◆付託案件

議案8件…承認・可決
認定8件…認定

◆主な審査内容

令和元年度山鹿市一般会計補正予算
(第3号)中所管

問 受入態勢充実費の補正はどのような内容か

答 宿泊施設魅力向上支援事業の利用件数増加によるもの。インパウンド対策として、客室の洋室化、トイレの洋式化、看板設置など

平成30年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について(中所管)

問 市営住宅の長寿命化や住環境の向上や更新はどうなっているか

答 上久野団地排水設備工事や広町ビル外壁改修工事などを行っている。市営住宅は耐用年数を経過したものが約5割になっており、改修が高額になる場合も含めて計画的に解体を進める。

現地調査

○公共土木施設災害市道小学校梅迫線(鍋田)

7月の異常豪雨で被災、路肩決壊が生じ農業用送水管が破損

○広域基幹林道災害八方ヶ岳線(菊鹿町)

同じく7月異常豪雨のため路肩決壊



市道小学校梅迫線



八方ヶ岳線

「日本遺産に関する3市合同議員研修会」を開催しました!

8月20日午後3時30分より、山鹿市役所501会議室で、3市議会の議員(玉名市・菊池市・山鹿市)が一堂に会し、「日本遺産の研修会」を開催した。

今回で2回目。講師に山鹿市教育委員会 社会教育課文化係長の山口健剛氏を迎え、演題は「菊池川流域の日本遺産について」。講演の中では、特に①米どころの認知度アップ②国内外からの交流人口の増加③日本遺産認定は地域活性化計画であることを強調した。

議員団として、日本遺産の選考過程や今後の方向性を学ぶことができた。そして、菊池川の米作りの歴史に先人たちの思いを知ることができた。

このように、3市合同の議員研修や交流ができるのも日本遺産のおかげであることを確認した。

今後の議員活動・地域活動に活かしていくことを再認識し、研修会を終えた。



3市合同議員研修会のようす

市政のここが聴きたい!



こちらのQRコードからご覧いただけます。

インターネット録画配信をご覧いただけます。

山鹿市ホームページ → 市議会一覧 → 定例会の様子

の順にクリックしてください。



はっとり かよ
服部 香代 議員

議案第18号 山鹿市会計年度任用職員の給与等に関する条例

- 質疑**
- ① 継続雇用はできるのか
 - ② 給料や期末手当について
 - ③ 臨時・非常勤職員数と人件費はどうか

答弁 総務部長

- ① 任期は1年以内となるが、客観的な能力の実証を得て、再任用も可能である。
- ② 月額単価とし、常勤職員の給料表を適用させる。期末手当や時間外勤務手当も常勤職員に準じて支給される。
- ③ 現在の臨時・非常勤職員数は268人（病院・消防除く）で次年度は特別職から移行する職を合わせ300人程度を任用する予定。人件費は本年度4億9千万円で次年度は約1億円増額になる見込み。

議案第23号 山鹿市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例

- 質疑**
- ① 無償化の対象者と対象施設
 - ② 3歳未満児の第二子と第三子以降の保育料
 - ③ 副食費や教材費などの実費負担はどうか
 - ④ 無償化の対象は何名でその財源は

答弁 教育部長

- ① 保育園の場合3歳から5歳児クラス全ての園児。0歳から2歳児クラスの子どもの内、住民税非課税世帯の子どもも無償化の対象である。施設は、保育園、幼稚園、認定子ども園、認可外保育園、ベビーシッター等が無償化の対象。
- ② 3歳未満児の第二子は半額、第三子以降は無償となる。
- ③ 教材費、体操服、送迎バス代については現行通り実費負担で、副食費も保護者負担となる。ただし副食費は年収360万円未満の世帯や第三子以降の子どもは免除されている。
- ④ 山鹿管内では3歳から5歳が1,142人、3歳未満児の内対象になる子どもが55人である。本年度の財源は「子ども・子育て支援臨時交付金」が交付され、来年度以降は地方消費税交付金に合算のうえ交付される。

令和元年度山鹿市一般会計補正予算（第3号） ふるさと応援事業について

質疑 補正予算の内容及び増額補正の理由について

答弁 総務部次長

寄附額については当初予想額より大きく伸びており、約5億9000万円に達する見通しである。そのため、返礼品等の事務経費として2億9072万3千円と基金への積立額として5億4429万3千円を計上している。

返礼品は、米を選ばれる寄附者が大幅に増えており生産者・農業関係者・行政が連携して米の品質向上に取り組み、食味ランキングで特Aを獲得するなど全国的に評価された結果ではないかと分析している。

今後、引き続き全国の寄附者に向けてPRを行うとともに、その他の農産物や温泉等の観光資源を活用した返礼品についても検討していく。

スポーツ振興がもたらす経済効果について

質問 ①インターハイの開催に伴う経済効果はどうだったか

②2019女子ハンドボール世界選手権大会に伴う経済効果をどのように見込んでいるのか

答弁 教育部長

①山鹿市内に宿泊した選手監督・関係者は、延べ3,930人で、その宿泊費は、約4200万円。また、大会開催のために市内業者に発注した費用の合計金額は、1100万円で、ハンドボール競技だけで直接的な経済効果は、5300万円だった。

さらに、隣接する玉名市及び菊池市においても、インターハイのレスリングとボート競技が開催され、

とみた ひろみ
富田 弘海 議員



選手監督が山鹿市に宿泊しており、宿泊費は約4800万円だった。その他、間接的な効果を含めると、山鹿市への経済効果は1億5000万円を超えると試算している。

②大会組織委員会では、世界選手権大会による熊本県への経済波及効果を92億円と試算している。山鹿市への直接的な経済効果は、仮設を含む施設整備や観戦者の宿泊・飲食などを見込んでいる。

なお、大会組織委員会等が、大会期間中に山鹿市に宿泊するハンドボールの大会などを計画中で、観戦の促進に併せ宿泊による経済効果を期待しているところ。

また、国内・国外からの来場者に対し、関係機関と連携しながら、経済効果を高める取り組みに併せ、特産品や観光などの山鹿らしさを国内外にしっかりと情報発信していきたい。



女子ハンドボール世界選手権大会公式球
及びメダル（メダルのストラップは山鹿産シルク使用）

九州産交バス熊本山鹿線「来民中町経由」廃止について

質問 「来民中町経由」を廃止し「来民バイパス経由」を残すことに、地元から「中町経由を残して」との陳情が出されている。地元住民の意見は聞いたのか

答弁 市民部長

一部地域ではなく、市全体で検討する必要があり、5地区代表校区長や老人会、婦人会代表を含む23人で構成された山鹿市地域公共交通活性化協議会にて、3月と5月に意見を聞いた。

質問 地域代表は入れ替わりもあり、継続した十分な論議だったとは言えない。地元住民の意見を反映し、市民と一緒にまちづくりを進めていくことが山鹿市の活性化につながっていくと思うが、今回の廃止について市長の見解は

答弁 市長

私も鹿本住民であり、路線廃止は残念だが、バス事業者が持続可能なバス路線構築のために実施するものであり、協議会に諮ったものである。

子育て支援について

質問 保育無償化で保護者負担になる副食費の補助、徴収業務の負担をどう考えるか

いもう
芋生 よしや 議員



答弁 教育部長

副食費を単独事業で行う考えはない。徴収業務による保育現場の負担増も見込まれる、今後の国や県内各市の動向を注視していく。

質問 山鹿幼稚園は環境が悪化している。改善ができないか

答弁 教育部長

隣接する店舗と協議の場を設け、植栽などの対策。児童送迎時の交通規制をお願いしたい。



山鹿幼稚園に隣接する店舗の室外機

※上記以外に、市政の姿勢「住民への説明責任」をどう考えているか。道路整備について質問。



せいだ しょういち
勢田 昭一 議員

公共交通機関の減少と今後の展望について

- 質問**
- ①山鹿に乗り入れる路線バス便の実態と年間の補助額は
 - ②「あいのりタクシー」の利用状況と年間補助額は
 - ③今後の展望（市内の交通手段）は

答弁 市民部長

- ①現在、民間の2事業者により23路線で、平日221便が運行されており、23すべての路線では赤字が発生している。その補助額は、平成30年度に1億2,680万7千円となっている。
- ②平成30年度の延べ利用者は、山鹿チヨマト号4,292人、鹿北たけんこ号4,499人、菊鹿あんず号14,452人、鹿央キンカン号6,017人、合計29,260人。メーター運賃から利用者負担を差し引いた市の補助額は、平成30年度に3,634万1千円となっている。
- ③平成30年度に本市の地域公共交通の基本計画となる「山鹿市地域公共交通網形成計画」を、「山鹿市

地域公共交通活性化協議会」において策定している。

今後5年間で計画に基づき、本市の特性や実態に応じた、地域公共交通ネットワークの形成を目指す。



スポーツ基本法に基づく「山鹿市スポーツ推進計画」の策定について

- 質問**
- ①平成30年3月一般質問後の進捗状況
 - ②策定の時期は

答弁 教育部長

- ①今年8月にインターハイハンドボール競技が開かれ、12月に女子ハンドボール世界選手権大会、来年は東京オリンピック・パラリンピックが開かれることから、市民のスポーツ推進に対する機運の高まりが予想される。その機を逃さず総合計画や教育基本計画との整合性を図り、地域に根差したより実効性のあるスポーツ推進計画の策定に向け準備を進めていく。
- ②令和3年度中に策定完了を目標にしている。



きたはら しょうごう
北原 昭三 議員

安全対策について

- 質問** 防犯灯の設置に関する補助制度及び要望件数について伺う

答弁 総務部長

合併後10年目となる平成26年度をもって、一旦区切りをつけて、事業の縮小を図ったが、新たな住宅地の分譲や小学校の統廃合による通学路の変更など、特別な事情による設置要望に対応できるよう、平成27年度以降も補助金交付要綱を存続させ、事業を実施している。毎年10件前後の相談（要望）を受けている。

- 質問** 防犯カメラの公共施設及び小中学校教育施設への設置状況と今後の設置方針について伺う

答弁 総務部長

公共施設への設置については、昨年度、新たに本庁舎、各市民センター、市民交流センター及びカルチャースポーツセンターなど7つの施設内及び駐車場に22台の防犯カメラを設置している。小中学校については、菊鹿小学校、めのだけ小学校に設置している。今後の設置方針については、不特定多数の者が利用する市の施設などを対象に設置することとしている。特に小中

学校については、不審者から子ども達を守り、安心・安全を確保するためにも、教育委員会において整備計画を作成し、計画的な設置に努める。

消防団の処遇改善について

- 質問** 平成26年3月議会で質問した報酬額の検証結果について伺う

答弁 消防長

平成28年度より、出勤1回に対し、一律1,000円から、火災及び警戒は1,400円、風水害及び捜索は2,200円に増額したが、団員報酬は据え置きとしている。



高齢者の安全運転支援と移動手段の確保について

- 質問** 今後、バス停から500m以内の地域での利用はできないのか

答弁 市民部長

あいのりタクシーを利用しての高齢者等への支援のあり方については、市民の方から多くのご意見やご要望をお受けしているところであるが、地域公共交通網形成計画では、あいのりタクシーについて、高齢者等の実情に応じた見直しが必要と考えているところである。

※上記質問の他に「若者の移住・定住について」質問を行った。

有害鳥獣被害対策について

質問 昨年度イノシシの捕獲実績が計画の6割以下となった有害鳥獣捕獲事業の業績向上を目的とし、猟友会、被害当事者である農林業者、市役所職員を含めた組織とするため現在の「山鹿市鳥獣被害対策事実施隊規程」を見直してはどうか

答弁 経済部長

鳥獣被害対策実施隊の隊員は、隊員の身分保障や、公務災害補償措置等が必要なため現在の組織で対応したいと考えている。

質問 イノシシ、鹿などの野生鳥獣肉はジビエと称され食用としての需要が増しているが、山鹿市の現状では捕獲後ほとんどが、埋設・焼却処分されている。

市として獣肉加工業者の誘致や新規事業者を支援する考えはあるか

答弁 経済部長

市としては、鳥獣被害防止対策を最優先に考え、県内の処理加工施設のほとんどが、獣肉の食肉処理における衛生管理、肉の安定供給、残渣の廃棄費用の負担等により採算が取れていないとの現状も考慮し、積極的に誘致する考えはないが、新たに組織を立ち上げる事業者への支援については、各種問題点の解決ができれば支援のあり方を考えたい。

防火管理体制について(京都アニメーション放火事件を受けての本市の対応は)

質問 ①防火管理の指導、給油取扱所におけるガソリンの容器への詰め替え販売は
②公共施設等の防火対策は

答弁 ①消防長 ②総務部長

- ①山鹿市火災予防査察規程に基づき指導。ガソリンの容器への詰め替え販売をする場合には、消防法令に適合した容器の使用、購入者に対する「身分証の確認」や「使用目的の問いかけ」、「当該販売記録の作成」等を各給油取扱所に周知徹底する。
- ②近年は行政庁舎でも放火事件が発生している。防犯カメラ設置による抑止力、不当要求に対するマニュアル対応のほか、接遇マナー等の研修を継続的に実施。自衛消防訓練においても放火を想定し、体制・役割の確認を行っている。

子どもへの地域文化の伝承について

質問 ①地域文化の伝承の現状は
②地域文化の継承は

答弁 教育部長

- ①保存会を結成して保存継承活動を続けているのは20団体。毎年、上限2万円の補助金を交付し支援している。
- ②人口減少に伴い保存継承を断念する事案も出ている。保存記録活動(映像や神楽曲の採譜など)を進め、仮に活動休止の場合でも、復活に寄与できる事業に取り組む。

うどう たつき
有働 辰喜 議員



山鹿灯籠まつりについて

質問 山鹿灯籠まつりは、悪天候でも順延されないが、順延をしない理由と悪天候による中止時の観光客への対応策は

答弁 経済部長

灯籠まつりは神事を伴う伝統行事であること、出演者や関係者のスケジュール調整が非常に困難なことから、警備体制の確保ができないため中止としている。過去の中止時の対応としては、八千代座で灯籠踊り保存会による灯籠踊りを披露。今後も観光客に喜ばれる代替案を検討していく。



山鹿灯籠まつり

たてやま だいじろう
立山 大二郎 議員



市政に資する職員の能力・組織力向上について

質問 ①職員の資格取得、先進事例の視察、民間からの職員採用は
②ワーク・ライフ・バランスの推進、各種ハラスメントへの対応は

答弁 総務部長

- ①業務遂行に資格取得が法令上必要となるもの(建築士、社会教育主事、水道技術管理者等)は費用負担を行っている。施設建設等のため実地による研修視察が必要な特定の事業に関しては予算措置をしている。民間からの職員採用(管理職等)は実績がない。
- ②育児休暇を取得しやすい環境の整備、休暇取得の促進、時間外勤務の縮減、男性職員の家庭生活へのかかわり強化等に数値目標を定め取り組んでいる。「セクシャル・ハラスメント苦情処理委員会」と相談窓口を設置しているが、パワー・ハラスメントについては特別な相談窓口等はない。国から出される予定の指針に基づき必要な措置を講じる。



おがわ えいじ
小川 栄二 議員

国土強靱化計画について

- 質問** ①防災・減災等に資する国土強靱化基本計画とは
②国土強靱化地域計画の策定のメリット、県内の策定状況及び山鹿市の取り組み状況は

答弁 建設部長

- ①大規模自然災害等への備えや、まちづくり政策・産業政策を含めた「強さ」と「しなやかさ」を持った安全・安心な国土・地域・経済社会の構築に向けた国土強靱化を推進するものである。
②策定のメリットとして
a 大規模災害時の被害減少
b 国土強靱化施策のスムーズな進捗
c 地域の災害対応力が高まり成長が望める。
県内で3自治体が策定中であり、計画の調査研究、近隣自治体の取り組み確認などを進める。



ながた こうじ
永田 紘二 議員

議案第26号 山鹿市消防団の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例

- 質疑** ①今議会で提案された消防団の定数を、2,200人から2,000人に減らした経緯を聞きたい
②消防団員の定数2,000人で山鹿市の消防力の維持が出来るのか

答弁 消防長

- ①山鹿市消防団員数は平成31年4月2日現在で1,964人。
これまで、機能別団員の配置や地域の消防団による積極的な勧誘等で団員を確保してきたが、実員数が1,964人となり2,200人の定数と大きく乖離するものとなり、定数を10月1日から実数に合わせた2,000人とするもの。
②現在の実員数が1,964人で山鹿市消防団組織として、より安全に市民が安心して過ごせるよう、消防団活動ができる団員の育成・組織づくりが実施されている。今後において、地域の理解と協力は必要不可欠で、機能別団員制度への積極的な周知、協力を求め

山鹿市の茶業振興について

- 質問** ①農家数・茶園面積・生産量等の生産状況は
②茶業振興対策の取り組み状況は
③今後の方向性及びとるべき対策は

答弁 経済部長

- ①平成30年度は生産者数79人、面積59ha、荒茶生産量84 t
②機械の新規導入や延命化、茶園の基盤整備を行い、茶園管理の省力化を図っている。また、茶苗の新植や改植、被覆資材の導入により品質向上や新規茶種への切り替え等、効率的な生産を行い、さらに技術の研鑽やPR活動など山鹿市茶業振興協議会と一体となった取り組みを行っている。
③生産者支援に重点を置き、省力化を図りながら生産力の強化を図る、また国産紅茶発祥の「山鹿産紅茶」等のPRや新規茶種の開発に取り組んでいく。

団員確保や部の統合を図り地域の安全安心に繋がるように取り組んでいく。
山鹿市消防本部としても、団員減少という課題はあるが、更なる消防団との連携強化を図り市民の安全安心に努めていく。

有害鳥獣駆除対策について

- 質問** イノシシの駆除については、猟友会に委託されているが、近年、捕獲数が減少している。捕獲数を増やすためには、捕獲の体制づくりが必要と思われる。今後のイノシシの捕獲体制の充実について伺う

答弁 市長

今後の捕獲体制の充実については、「自らの農地、地域は自らで守る」という意識の醸成を図り、市と猟友会がより一層連携を深め、地元住民の積極的な捕獲活動への参画を促し、猟友会・地元・行政が一体となり、より効果的な捕獲活動ができるような体制づくりに努めていく。



令和元年(第2回)9月定例会審議結果および賛否一覧

○は賛成 ●は反対 欠は欠席 (議長は採決には加わりません)

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
			立山大二朗	小川榮二	芋生よしや	勢田昭一	有働辰喜	服部香代	富田弘海	富丸洋一郎	藤本峰秀	北原昭三	芹川正美	藤原豊	平井邦廣	吉本政幸	池田誠一	堀茂幸	永田紘二	横手啓介	寺崎勇児
議案第16号	専決処分の承認を求めることについて (令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第2号))	承認	全会一致																		
議案第17号	山鹿市職員の分限に関する手続及び効果に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第18号	山鹿市会計年度任用職員の給与等に関する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第19号	山鹿市印鑑の登録及び証明に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第20号	山鹿市森林環境譲与税基金条例	可決	全会一致																		
議案第21号	山鹿市温泉給湯条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第22号	山鹿市鹿北研修センター条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第23号	山鹿市子どものための教育・保育給付に係る利用者負担額に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第24号	山鹿市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第25号	山鹿市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第26号	山鹿市消防団員の定員、任免、給与、服務等に関する条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第27号	山鹿市手数料条例の一部を改正する条例	可決	全会一致																		
議案第28号	令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)	可決	全会一致																		
議案第29号	令和元年度山鹿市国民健康保険事業特別会計補正予算(第1号)	可決	全会一致																		
議案第30号	令和元年度山鹿市介護保険事業特別会計補正予算(第2号)	可決	全会一致																		
議案第31号	令和元年度山鹿市病院事業会計補正予算(第1号)	可決	全会一致																		
議案第32号	財産の譲渡について	可決	全会一致																		
議案第33号	財産の譲渡について	可決	全会一致																		
議案第34号	財産の譲渡について	可決	全会一致																		
議案第35号	財産の譲渡について	可決	全会一致																		
議案第36号	財産の譲渡について	可決	全会一致																		
議案第37号	山鹿市過疎地域自立促進計画の変更について	可決	全会一致																		
認定第1号	平成30年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について	認定	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定第2号	平成30年度山鹿市国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																		
認定第3号	平成30年度山鹿市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																		
認定第4号	平成30年度山鹿市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																		
認定第5号	平成30年度山鹿市介護保険事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																		
認定第6号	平成30年度山鹿市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																		

議会報告会

常任委員会審査と報告

委員会報告及び現地調査

市政のことが聴きたい

審議結果・賛否一覧・
主な議案・討論

議案等番号	議員名 (議席順)	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	
			立山大二朗	小川 榮二	芋生よしや	勢田 昭一	有働 辰喜	服部 香代	富田 弘海	富丸洋一郎	藤本 峰秀	北原 昭三	芹川 正美	藤原 豊	平井 邦廣	吉本 政幸	池田 誠一	堀 茂幸	永田 紘二	横手 啓介	寺崎 勇児	
認定第7号	平成30年度六郷財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																			
認定第8号	平成30年度城北財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																			
認定第9号	平成30年度稲田財産区特別会計歳入歳出決算の認定について	認定	全会一致																			
認定第10号	平成30年度山鹿市水道事業会計決算の認定について	認定	全会一致																			
認定第11号	平成30年度山鹿市病院事業会計決算の認定について	認定	全会一致																			
認定第12号	平成30年度山鹿市下水道事業会計決算の認定について	認定	全会一致																			
陳情第8号	国保税引き下げのために国庫負担増額の意見書提出を求める陳情書	趣旨採択	全会一致																			
陳情第9号	産交バス熊本山鹿線「来民中町経由廃止」の撤回を求める陳情書	不採択	●	●	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
意見書案第1号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	

主な議案

議案第16号 専決処分の承認を求めることについて(令和元年度一般会計補正予算(第2号))

・令和元年7月20日から22日にかけての集中豪雨により被害を受けた衛生施設、農業用施設、林業施設、公共土木施設、公園施設及び社会体育施設の災害復旧に係る経費補正額
1億3,354万8千円

議案第28号 令和元年度山鹿市一般会計補正予算(第3号)

主な補正予算

- ・ふるさと応援事業
ふるさと応援寄附金の増加によるもの
8億3,501万6千円
 - ・受入態勢充実費
宿泊施設魅力向上支援事業の利用件数の増加によるもの
5,272万8千円
 - ・教育交流事業
中学生を宮古島市に派遣し地元中学生との教育交流をモデル的に実施するもの
180万円
 - ・災害復旧費
集中豪雨により被害を受けた農業用施設ほかの災害復旧事業
5億5,137万3千円
- 認定第1号 平成30年度山鹿市一般会計歳入歳出決算の認定について ほか

反対・賛成討論

3番議員 芋生 よしや

反対討論

議案第18号
条例の期末手当支給など待遇改善は評価するが、住民のくらし・福祉の増進には、任期の定めのない常勤職員中心の公務運営原則を堅持し、雇用安定、待遇改善を図るべき。

議案第24号

家庭的保育事業の連携施設確保を5年から10年に改めることは、子どもたち、保護者、職員にとって安心・安全な保育を脅かすもので反対。

認定第1号

利便性向上との宣伝でも、取得は進まず、情報管理や漏えいなど根強い不安があるマイナンバーは、利益優先・利活用推進に問題があり、関連の支出に反対。

賛成討論

陳情第9号

利用する地域住民に事前説明のない路線廃止は、民主主義とは言えない。安心安全に暮らし、住み続けられる生活基盤は重要で、地域公共交通維持にも住民が主体的に関わることが、地域活性化につながる。
市では、1億3千万円支出している産交バスと交渉し、住民が最も利用しやすい路線を守るべきである。

議会の主な動き

8月

- 3日(土) 菊鹿戦没者追悼式
- 5日(月) 広報広聴委員会
- 9日(金) 「平和を祈念する日」式典
- 13日(火) かもと招魂祭式典
広報広聴委員会
- 16日(金) やまが灯籠まつり
クーマ市訪問団歓迎レセプション
- 18日(日) 熊本県女性消防操法大会
- 19日(月) 市民福祉常任委員会
百歳到達者表敬訪問(3人)
- 20日(火) 日本遺産に関する3市議会合同議員研修会
- 21日(水) 山鹿市の農林業を考える議員の会
- 22日(木) 議会運営委員会
県道菊池・鹿北線道路改良期成会総会
- 26日(月) 広報広聴委員会
- 27日(火) 熊本・阿蘇幹線道路整備促進期成会通常総会
- 29日(木) 9月定例会開会・全員協議会

9月

- 4日(水) 質疑・一般質問
- 5日(木) 質疑・一般質問・委員会付託
広報広聴委員会
- 6日(金) 建設経済常任委員会
- 9日(月) 市民福祉常任委員会
- 10日(火) 総務文教常任委員会
山鹿市中体連陸上競技大会
- 11日(水) 国道3号植木バイパス早期実現期成会要望活動
- 12日(木) 議会運営委員会
- 13日(金) 9月定例会閉会・全員協議会
広報広聴委員会
- 14日(土) 山鹿市敬老表彰式典
- 17日(火) 広報広聴委員会
- 19日(木) 議会報告会(鹿北)
国道3号植木バイパス早期実現期成会要望活動
- 20日(金) 議会報告会(鹿本)
- 25日(水) 議会報告会(鹿央)
- 26日(木) 議会報告会(山鹿)
鹿央町戦没者追悼式
- 28日(土) 議会報告会(菊鹿)
- 30日(月) 百歳到達者表敬訪問(4人)
広報広聴委員会

行政
視察

ようこそ山鹿市へ

- 8月2日 京都府宮津市 やまがメイト
- 8月21日 佐賀県伊万里市 学校規模適正化

議会を傍聴して



津々浦 里帆さん(熊本県立大学)

人生で初めて議会傍聴をし、理解できるか不安でしたが、予想していたよりも分かりやすいものでした。京ア二放火事件などの時事問題、イノシシ被害対策や観光客の減少などの地域問題と、幅広く話されており、こうした問題を深く考える機会ができました。また、イベントや事業についても扱われていたので、山鹿市の学生さんにもぜひ出席してほしいと思いました。



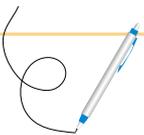
武田 勇人さん(熊本県立大学)

議会を傍聴する前は、話の内容が堅く議員でなければ理解できないようなものだというイメージがありました。しかし、実際に議員のインターン活動を通して傍聴してみると、山鹿に必要なことや、実際に起きている問題や今後の方針について、詳しく話し合っていることがよく理解できました。



倉野尾 海侑さん(熊本県立大学)

議会傍聴がどんなものか全く想像つかないまま山鹿市の議会棟に行きました。実際に傍聴してみると、私にとっては難しい言葉も多かったですが、意外にも分かりやすく、議員の皆さんが山鹿を良くするために様々な問題を解決しようとしていることが分かりました。ぜひ、山鹿の若い方達にも傍聴して、山鹿の未来を考えるきっかけにして欲しいと思いました。



編集後記

心地良い秋の風が、庭に咲くコスモスを揺らす今日この頃、少し物悲しい想いに駆られるのは私だけでしょうか。

さて、今回市議会として5回目の議会報告会をそれぞれの5地域で開催いたしました。その中で参加者の方が指摘されたのは、せっかく市議会の有り様を知り、私たち市民の市政への意見・提言等を示せる機会なのに、もっと多くの方が参加できるように、様々な方法を考慮して欲しいとの指摘でした。この事を含め又多くの意見・提言に対しても私たち議会は、真摯に受け止め、議会の中で議論を深め市政に反映できるものは反映させていきたいと思っております。

そして、市民の皆様、行政、私たち市議会も究極の目的は、山鹿市の発展と、市民生活の向上であると確信しています。

最後に、この「市議会だより」を多くの方に読んで頂き、議会とは何かを知って頂ければ幸いです。

多くのご意見・ご提言をお待ちしています。



広報広聴委員 池田 誠一